

ガバナー公式訪問報告

※紙面の都合上や原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

江別西ロータリークラブ

8/2(火)

江別西ロータリークラブに石丸ガバナーが来訪されたのは、8月2日(火)でした。

ご随行に第3グループの松下ガバナー補佐、第2510久木地区財務委員、第3グループの北野ガバナー補佐幹事がいらっしゃいました。

定刻の16:30から会長・幹事懇談会が始まりました。

会場の江別市民会館は、去る7月16日に地区会員増強セミナーが開催された会場でもあります。石丸ガバナーからは、先ずこの増強セミナーを終えてからガバナー公式訪問を開始すると考えておられたという事をお聞きました。そのこともあり、会長・幹事懇談会では会員増強、さらには如何に会員を維持していくかを会談させていただきました。さらに新入会員の教育やモチベーションの向上をどうするか等で一つ提案をいただきました。それは、いわゆる『ファイヤーサイドミーティング』と称する小人数ミーティングです。クラブ全員の例会ではなかなか本音が出なくても、5~6名のグループでは意見も出しやすく会話も活気が出てくるとの事です。これは今後我クラブでも取り入れていきたいと感じました。特に若い人を世話役とし会場設定、企画を任せてのミーティングも有効であると思いました。

17:30からはクラブ協議会を行いました。

各委員会の代表が参加し、今年度の計画等の発表をしました。

石丸ガバナーからは、当初ロータリー財団のお話していただきました。さらに、寄付をする事は非常に重要な事であると共に、自分の得意なことをする事また小さな活動をする事でもロータリアンとしてより充実した活動であるのではないかというお話をいただきました。

18:30から開催したクラブ例会においては、通常のセレモニーの一部を省略し、札幌西RCとのバナー交換や石丸ガバナーから特にポリオについて講話をいただきました。せっかくの講話でしたが、コロナ禍ということもあり、20分程度との要望も快く承諾いただきました。

全体的には、石丸ガバナーはお仕事の関係で江別に詳しく、過去の災害の事や農産物についてもいろいろお話しさせていただきました。農業生産者や食品関連の仕事に携わっている者も在籍していることもあり、江別を代表する小麦品種『ハルユタカ』についても話が盛り上がりました。



岩見沢東ロータリークラブ

8/3(水)

新年度になってすぐの8月3日。石丸修太郎ガバナーの公式訪問がありました。久木利弘地区財務委員、松下早苗ガバナー補佐、北野隆春補佐幹事にもご来会いただきました。

初めの会長・幹事懇談会では石丸ガバナーが開口一番、ざっくばらんに話しましょうと言われ、砕けた雰囲気になってくださったおかげでクラブの状況など忌憚なく話すことができました。

次にクラブ協議会ですが、それぞれが方針を読み上げるよりも、今考えていることを話してくださいと言われたので、各担当が心に描いている抱負を遠慮なく語ることができました。この時点で打ち解けた雰囲気になったので安心して協議会を進めることができましたと思います。

さて例会でのガバナー挨拶の概略を紹介いたします。

今回は他のクラブで話したことのない内容になるかもしれないと言われ話が始まりました。

ある日、税理士だった父親が子供たちに一家の一大事を話してくれた。父親が保証をしているある会社が借金が膨れて倒れるかもしれないということだった。自分は小学生だったのでよくわからなかったがとにかく一緒に働こうと思った。

倒れた会社は札幌にも少ない新しいスタイルのクリーニング会社だった。そこでは子供でもできる仕事があり手伝ったりした。

父は税理士なので母親が社長になった。月末になると父母が喧嘩していた。資金繰りのことだったろう。両親が忙しいので姉二人が食事の準備をしてくれたが自分も手伝わされているうちに、食事の準備を覚えた。おかげで学生時代も、後に海外で暮らす時も大丈夫だった。

そのお陰か今も自宅では朝ごはんを作ってから奥さんが起きてくるのを待つという毎日を送っているとのこと。一同、笑い声が上がリ、若い時の苦労は後々役に立つもの、どこにいても食べ物に困らないことは一生を左右する特質であると思ひ感動していました。

スペインでの調味料は塩とオリーブオイルとニンニク。コショウすら使わないと。素材が美味しいとそれで良いということ。生ハムの美味しさ、その感激を聞いた時、素材が良いということは何物にも勝るということに一同共感しました。

ガバナーは13年も海外にいたそうで日本に戻れない気持ちもあったが母親の体調が思わしくないので帰国されて、以来30年も経ってしまったとのこと。父はロータリーに入っていたが看病のために辞めていた。そこでご自分に何度も熱心に誘いが来ていた。

ある出会いがあって入ることになった。例会ぐらいなら出られると思った。しかし親睦委員になり委員長になったりして飲み会もありだんだん入り込んでしまったとのこと。それは大多数のロータリアンが経験することと感じながら聞いていました。

その後は地区の委員会に入るようになりロータリーというものを改めて見直すようになって様々なクラブを知るようになり、海外のクラブなどと交流すると我々とかなり違うロータリーライフを送っていることも知ったとのことでした。

その後、財団の監査をする人の募集があり応募してみた。するとラーニングセンターに行かねばならないことになった。必死に研修を終え財団の監査に登録した。日本では3人しかいないとか。補助金の出し入れにも慎重に当たらなければならないことがあるようです。

最後に言われたことは「岩見沢RCは持ち味である仲の良さを絶対くずしてはいけません。もっと沢山の人を抱え込むよう目標を持ってぜひ頑張ってくださいと思います。」と。非常に説得力あるお話に私を始め、一同が深く頷いていました。ありがとうございました。



栗沢ロータリークラブ

8/3(水)

令和4年8月3日（水）、石丸ガバナー、下村地区副代表幹事、松下ガバナー補佐、篠田ガバナー補佐幹事をお迎えして、公式訪問が開催されました。

10時30分からの会長・幹事懇談会では金山会長、本田幹事、中田会長エレクトが出席し、栗沢RCの歴史から現在のクラブの特徴などを説明し、石丸ガバナーからは会員増強の取り組み方法などのアドバイスをいただきました。

11時30分からの「クラブ協議会」では五大奉仕委員長からコロナ禍での活動方針や今後の取り組みなどを発表し、石丸ガバナーから貴重な助言をいただきました。

12時30分からの例会では、地区テーマ「ロータリーの想いを馳せる」～明日のロータリーに夢を込めて～と題してガバナーに講演いただきました。

特に印象深かった事は、会員増強に関して経営者にこだわらず、人と何かするのが好きな人、例えば主婦の方でもOKですと話されていた事です。また会員同士職業をより知るために、会員卓話を積極的に開催したほうが良いとのアドバイスをいただきました。職業奉仕とはお互いが無理をせず、できる事をできる範囲で行えばよいという事を教えていただきました。

例会終了後、全員で記念撮影をし「公式訪問」を終えました。

ガバナーの飾らないざっくばらんな性格のおかげで、公式訪問はとても楽しく和やかに終了することができました。会員一同心より感謝申し上げます、報告とさせていただきます。



美唄ロータリークラブ

8/3(水)

2022年8月3日(水) 16時30分より石丸修太郎ガバナーをはじめ、下村卓也地区副代表幹事、松下早苗第3グループガバナー補佐、篠田 勝第3グループガバナー補佐幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。

会長・幹事懇談会では、大坪会長より当クラブの近況と特徴について報告させていただいた後、ガバナーからの力強い思い溢れるご挨拶をいただくとともに様々なご意見等をいただき、終始和やかな中に有意義な時間を過ごす事ができました。

クラブ協議会においては、当クラブ各委員長から今年度の活動計画を説明し、会計やSAAからも説明。残念ながら、新入会員の入会はありませんでした。

最後にガバナーから総合的なご意見やご助言をしていただく中、ロータリーは地域に根差し、未来へ繋げていくためにも会員拡大が大切である旨のお話を伺いました。

夜間例会前に石丸ガバナーはじめ来訪者及び会員で記念写真を撮影しました。

セレモニーの後、石丸ガバナーにビールで乾杯をして頂き、その後ご挨拶で会員が減少している中ではロータリーに入会しやすい環境を作ることが大切で、今のロータリアンは会社の代表で無くてもよく、例えば主婦でも奉仕活動に興味のある方などに積極的に参加して頂きたい。職業分類も、その方の趣味や特技で、料理が得意な方は「料理」、そのほか手芸・園芸等何でも良いのではと話されました。ロータリーの目的の再認識と魅力を地域に伝えることが会員拡大に繋がるのではとフランクな雰囲気の中で拝聴させて頂きました。

連日お忙しい中、また、コロナ第7波の中、当クラブに公式訪問して頂きました事をメンバー一同より感謝申し上げます。



国際ロータリー第2510地区
美唄ロータリークラブ ガバナー公式訪問例会

2022年8月3日

江別ロータリークラブ

8/4(木)

2022年8月4日（木）、第2510地区、石丸修太郎ガバナーが江別RCに公式訪問でお越しくださいました。

中川和昭会長体制になってから、まだ一ヶ月という初々しい運営体制の中、ガバナーに失礼がないようにお迎えしなくてはならない！という使命感のもとに、当日は10時30分からの会長・幹事懇談会というタイムスケジュールでしたが、9時に例会場へ到着。各会場の座席配置や備品、例会時の食事の打ち合わせなどをさせていただきました。

石丸ガバナーの会場到着時、会長含め数名にてお出迎えさせていただいたのですが、下村地区副代表幹事を助手席に乗せて、ご自身で運転されて来訪されたのには一同驚かせていただきました。

石丸ガバナー到着後は随行されたみなさまと名刺交換などさせていただき、和やかな雰囲気の中様々な話題で会談をさせていただきました。

会長・幹事懇談会、各委員会委員長とのクラブ協議会では、石丸ガバナーが考えていらっしゃるロータリー論をご教授いただき、会員を増強するにあたっての心構えや、例会の雰囲気作り、メンバー間のコミュニケーション方法など、たくさんのお話をお聞かせいただきました。

そして全出席メンバーとの例会です。月初めということもあり、米山奨学生のチャイ・ソタヴィーさんが例会出席されていたので、ご紹介させていただいたのでタイミング良かったと思います。

石丸ガバナーや松下ガバナー補佐、下村地区副代表幹事、篠田ガバナー補佐幹事、それぞれが各テーブルにおいてメンバーと交流していただき、様々な立場からお互いのクラブの話などをしながらあっという間の食事時間をすごすことができました。

いつもの馴染みあるメンバー同士の食事でも楽しいですが、こうして各クラブより来訪していただく、それぞれの風習や文化を知ることができて刺激あってよいですね。あらためてメーカーシップすることの重要性を感じたところです。

最後に出席者全員での集合写真を撮影して解散となりましたが、来たときと同様に外までお見送りに行かせていただき、車が安全に出発されたあとに松下ガバナー補佐がおもむろに「この辺で美味しいソフトクリーム食べれるところありますか？」と聞いてきたので、すぐ目の前の飲食店をご紹介させていただき、篠田ガバナー補佐幹事とスキップしながら消えていったのは内緒です。



長沼ロータリークラブ

8/8(月)

8月8日(月)、石丸修太郎ガバナー、徳田雄大地区幹事、五十嵐宏ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午後5時からの会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、真田会長からクラブの特徴と今年度活動方針の説明の後、公式訪問での質問事項でありました、地区補助金活用状況と青少年奉仕事業について報告いたしました。未来を担う子どもたちへの奉仕活動は、長沼RCが創立当初から一貫して力を入れてきた分野であり、これからも継続していく所存です。

引き続いてのクラブ協議会ではガバナーからのご提案で、各委員長の今年度の活動方針と活動計画とともに、ロータリーへの思いも発表することになりました。クラブ内でそれぞれのロータリー観を今一度、共有することができ、長沼RCへの思いも知ることができたのは新鮮であり、有り難いことでした。

クラブ協議会後の公式訪問記念例会では、徳田地区幹事、五十嵐ガバナー補佐からもご挨拶をいただきましたが、徳田地区幹事からご自身の経験を通してロータリーの返事は「イエスマたはハイ」「喜んで」さらには「待ってました！」と。

私たちも笑いの中に、ロータリアンとしての姿勢を学ばせていただき、さらに五十嵐ガバナー補佐からは、ご自身の経験豊かなロータリー活動から、これからの私たちの進む方向を示していただきました。

メンバーを次々亡くし会員減の当クラブは会員増強が喫緊の課題ですが、ガバナーの「人を喜ばせることのできる人ならば、主婦でもサラリーマンでもロータリアンの資格があり、社長ばかりを狙うのではなく、面白い人を探しましょう」とのお言葉は、増強の意欲を掻き立てられるものでした。

また「チャーターメンバーと準チャーターメンバーが多いことは貴重であり、誇りに思っている、今、長沼RCは成長過程にある」とおっしゃっていただいたことは、小さなクラブながら31年目を歩みだす私たちを励まし、これからの活動へ背中を押された思いがいたしました。「伸びしろしか無い！」を合言葉に、この一年を充実したものにしていける所存ですので、今後ともご指導を宜しく願いいたします。

最後になりましたが、石丸修太郎ガバナー、徳田雄大地区幹事、五十嵐宏ガバナー補佐のご訪問に会員一同感謝申し上げます、ガバナーはじめ皆さまがご健勝で成果の多い一年になりますよう祈念いたします。



令和4年8月9日に石丸修太郎ガバナー、第7グループ五十嵐宏ガバナー補佐、徳田雄大地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催致しました。

第一部の「会長・幹事・会長エレクト懇談会」では当クラブ大下会長よりクラブ概要の説明をさせて頂き、クラブの若返りを目指してシニア会員を創設し、若い会員でクラブ運営を行っていききたいとのお話をさせて頂きました。またコロナ禍が継続しておりクラブ活動が出来なかった期間に入会した新入会員も多くおり、本年度は対内向けの活動に力を入れていききたいのご説明をさせて頂きました。

更に当クラブの会員数は決して多くはなく委員会の兼務者が多くいるが、委員会組織としては活発に活動している旨をご説明させて頂きました。

石丸修太郎ガバナー様からは委員会を兼務する事は問題ではなく、委員長の把握している情報を委員会メンバーがしっかりと共有出来ているかが大事であるとの話を頂きました。また今後のクラブ運営に関して、いかに早く次年度に向けた動きをスタートさせる事が大事であるかとの話を頂戴する事が出来ました。

クラブ内で未来ビジョン会議を確立し、2~3年後の未来に向けて今から動き出す事が大事であるとのご助言を頂戴する事が出来ました。

第二部の「理事懇談会」においては、当クラブ理事より今年度の活動概要の説明をさせて頂きました。

石丸修太郎ガバナー様より個々のロータリーに対する思いについて、ご質問を頂戴いたしました。理事メンバーからは「自身の日々の行動を確認し、ロータリアンとしての品格を大切にしていきたい」との話や、「36年の子育ての経験を活かし、女性会員目線で活動に取り組みたい」との報告をさせて頂きました。

ガバナー論評では交換留学生の受け入れについてご提案を頂き、青少年指導者養成プログラム(RYL A)への従業員の参加についてもお話を頂戴する事が出来ました。また地区HPへの会報の掲載についても、協力のご依頼を頂きました。

第三部の「例会 ガバナー卓話」では、自身のガバナーエレクト当時のお話や、今年度RI会長テーマの読み解きに至る経緯についてアットホームな雰囲気の中で会員に向けてお話を頂戴いたしました。

今後のクラブ運営にとって非常に参考になるお話を頂戴し、ロータリー活動に対する思いを今まで以上に大きくすることが出来た一日となりました。

5年後の未来を見据えたクラブ運営と活動に邁進していききたいと思います。

誠に有難う御座いました。



北広島ロータリークラブ

8/9(火)

2022年8月9日(火)北広島クラッセホテルにてガバナー公式訪問が行われました。

公式訪問には石丸修太郎ガバナーの他、徳田雄大地区幹事と五十嵐宏ガバナー補佐の3氏をお迎えいたしました。当クラブからは大谷会長、藤田(隆)幹事、藤田(真)会長エレクトが出席し計6名での懇談会が行われました。

まずは大谷会長より現在のメンバー構成及び活動内容の報告がございました。

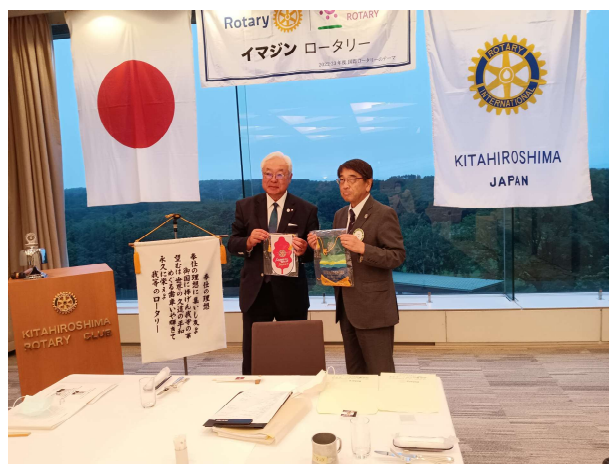
活動内容としてはファイターズのボールパーク関連の活動が活発になり、ロータリークラブとしても活動の中心になっていくと予想されると報告いたしました。石丸ガバナーからは会員増強のアイデアをいただきました。青年会議所とのコンタクトで次世代会員や女性の会員増強またはトライアル会員制度の新設で気軽にクラブに参加していただける等とても為になるお話をいただきました。

とても和やかな懇談会であつという間に予定の時間がたち、例会へと席を移動いたしました。

例会では石丸ガバナーから卓話をいただき、今年度もコロナと向き合っていかなければならないが楽しいロータリー、楽しい活動をしてロータリアン全員が楽しく参加できるようにと前向きなお言葉をいただきました。

当日はバナーの交換を行い、また入会の新会員がおり石丸ガバナーよりバッチの授与を行っていただき大変記念になる公式訪問となりました。今後もコロナ過の状況ですが、出来る限りの活動を行っていこうと思っております。

石丸ガバナー、徳田地区幹事のご訪問心より感謝申し上げます。



恵庭ロータリークラブ

8/10(水)

8月10日（水）石丸修太郎ガバナー、第7グループ五十嵐 宏ガバナー補佐、徳田雄大地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

コロナ禍につき、感染防止に充分配慮した上での会長・幹事・エレクト懇談会を行いました。

当クラブが長年継続して行っております事業への取り組み等、それぞれの年代別の活動に対するお話、また、幅広い年齢層の中で会員相互が協調性を保ち円滑に交流、活動している現状などをお話させていただきました。

中でも当クラブ独自で行っています歯車基金に対しては大いに共感して頂きました。そして米山奨学生、青少年交換留学生事業、近隣市町村の中学生を対象とした恵庭ロータリー旗争奪少年野球大会、秋の例大祭で市内全8小学校を対象にした子供相撲大会に対しては高い評価を頂き今後の活動に向けてより一層の励みになりました。

限られた時間ではありましたが石丸ガバナーのお人柄なのか終始和やかな雰囲気の中、実りある有意義な懇談会となりました。

引き続きクラブ協議会を行い、各委員長より今年度の事業計画を発表させていただき、それぞれの項目に対して助言を頂きました。又その際に各委員長へ「ロータリーに対する思いを一言ずつ」と求められ苦慮した一面もありました。

その後、全出席会員との例会を開催いたしました。

石丸ガバナーをはじめ皆様方のご紹介に始まり、米山奨学生アンさんのスピーチ、バナー交換の後、石丸ガバナーよりご講演を頂きました。講演の中では、地区テーマ、地区目標に対する補足説明、ローターアクトの拡充、米山奨学生に対する想い、そして我が国のポリオに対する活動状況等々お話を頂きました。限られた時間内での講和という事で石丸ガバナーには大変慌ただしく誠に申し訳なく感じるところです。例会終了後全員で記念写真を撮影後、理事を含めて食事をとり公式訪問は終了となりました。

私共はこの公式訪問を機に、更に活動を活発化して行きたいと思っております。最後になりますがコロナ過であり、さらに残暑厳しい中、訪問下さり有難うございました。

第2510地区全クラブへの公式訪問が滞りなく終了します事を願っております。



函館ロータリークラブ

8/18(木)

令和4年8月18日（木）、函館RC第4253回例会は石丸修太郎ガバナーの公式訪問でした。

例会に先立ち、石丸ガバナーと、玉井清治ガバナー補佐、地区財務委員会の久木利弘委員と、当クラブ額賀康之会長、二本柳慶一会長エレクト、原一彰幹事の6名で会長・幹事懇談会を行いました。話題は新会員獲得、退会防止から北海道新幹線と北海道経済のかかわりにまで多岐に及び、内容の濃い30分の懇談となりました。

引き続き、石丸ガバナー、玉井ガバナー補佐、久木地区財務委員をお迎えして、本年度第2回のクラブアッセンブリーを開催しました（出席会員37名）。石丸ガバナー、玉井ガバナー補佐のご挨拶に続き、五大奉仕委員長から今年度の活動計画を発表しました。伊藤正明クラブ奉仕委員長からは、出席委員会から姉妹クラブ委員会まで9委員会の活動計画を報告、森健二職業奉仕委員長からは職業奉仕委員会の報告、渡邊政久社会奉仕委員長からは社会奉仕委員会と環境保全委員会の報告、佐藤友康国際奉仕委員長からは国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会の報告、飯野智子青少年奉仕委員長からは青少年奉仕委員会と函R奨学委員会の報告をそれぞれ行いました。石丸ガバナーからの講評では、多種多様な継続事業と新規事業が行われていることを評価して頂き、特に環境保全委員会の活動については、独自の特色ある事業を継続的にやっている点や、地元の小学校、高文連、行政と協力して実施している点に高い評価を頂きました。

記念撮影後の例会（出席会員51名）では、委員会報告で当クラブの活動の一端をご紹介しました。特に新規の函R奨学生の挨拶をお聞き頂き、事業の意義を感じ取って頂けたと思います。卓話では、国際ロータリーの現状、現会長のテーマ、地区やガバナーの意義、役割などのご説明に続き、ガバナー方針について詳しくお話し頂きました。特に、ポリオや財団奨学生などロータリー財団の事業や、米山記念奨学会の活動の意義について詳しくご説明を頂き、財団と米山の寄付の重要性をお話し頂きました。また、青少年奉仕の諸活動の推進やICTの活用についてもお話し頂きました。

全体として、ご自身の国内外での多彩なご経験に基づいた明確な価値観と意思をご提示頂くと同時に、ロータリー活動や北海道に対する熱い思いをお伝え頂き、会員一同感銘を受け、今後ロータリー活動に取り組む上での多くの示唆と、情熱を受け取ることができました。ご訪問に深く感謝するとともに、健康面にもご留意頂き、地区のため、ロータリーのために益々ご活躍下さいますことを祈念いたします。



函館五稜郭ロータリークラブ

8/19(金)

令和4年8月19日（金）当クラブの例会会場でありますホテル法華クラブ函館において、石丸修太郎ガバナー、当クラブメンバーでもあります柏木秀之ガバナー補佐、久木利弘地区財務委員をお迎えして公式訪問を開催いたしました。

10時30分からの会長・幹事懇談会では、当クラブ小林大輔会長が濃厚接触者の為、ズームでの参加となりましたが、クラブの特徴や活動内容を説明申し上げ、ガバナーからご挨拶を頂きますと共に意見交換では終始和やかで有意義な時間を過ごす事ができました。

クラブ協議会では、各委員会からの活動計画の報告の後、ガバナーより「ロータリークラブに対する思い」を出席メンバーに尋ねられ、「本来の自分は社交性が無いもだと思っていたが、RCのお陰で友人と楽しく過ごす事が出来ている」や「RCに入っておらず、私個人では思うような奉仕活動が出来ないが、仲間と一緒に出来る喜びがある」等、各々の「思い」を聞く機会に恵まれ、新たな一面を知る事ができました。又、会員増強の必要性と内容充実の重要性等を示唆して頂きました。

12時30分より例会が開催され、メルボルン国際大会のお話や10月14日、15日、16日の地区大会関連の事業のご案内。ローターアクトクラブの規定変更や倶知安RCがホストクラブになり行う、日本で初めての国際スキー同好会、スキーウィークのお話等、興味深く拝聴させて頂きました。

又、ロータリー117年の歴史で初めての女性会長ジェニファーE・ジョーンズRI会長が打ち立てたイマジンロータリーの重点目標やマークの意味。

地区のテーマである「ロータリーに思いを馳せる」への想い等、多岐に渡るお話をさせて頂きました。その中でも「ロータリーの根は親睦であり、その上に職業奉仕があり、シンプルな事が活動の根源です。」「社会奉仕、青少年奉仕に役立てて活動していくのがロータリーだと考えています。」との言葉が心に響きました。

例会終了後、ガバナーを囲んでの記念撮影を行い公式訪問を終えました。

石丸ガバナーにおかれましては、御自愛頂き、以降の公式訪問をはじめ、全ての事業が無事に終了されますことを御祈念申し上げ、公式訪問の御礼とさせて頂きます。



函館東ロータリークラブ

8/23(火)

8月23日（火）石丸修太郎ガバナー、下村卓也地区副代表幹事をお迎えし、午前10時半から会長・幹事懇談会、11時半からはクラブアッセンブリー、そして12時半からは公式訪問例会がホテル函館ロイヤルシーサイドにて開催されました。

函館市内でも過去最多の新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、すべての出席予定者の参加こそかなわなかったものの、多く会員の出席の下無事開催できました。クラブアッセンブリーにおいては、限られた時間の中、当クラブ出席者全員に「ロータリーに対する想い」について発言の機会を与えていただいたこと、ロータリアンそれぞれの発言を聞いて、一人一人の活動を見つめ直し、決意を新たにするととても良い機会になり、非常にありがたく感謝申し上げます。

当クラブについて、温かい雰囲気の良いクラブであると石丸ガバナーよりお褒めいただいたことも、手前味噌ではありますがうれしく存じます。

例会の講話では、RIテーマ、地区テーマについて「イマジン」というと何でも想像できてしまう・・・という切り出しから、石丸ガバナーの様々な「イマジン」を当クラブの奉仕活動、今年度の地区の様々な予定行事にからめてご紹介・解説していただきました。

最後に札幌西RCとのバナー交換、記念撮影を行い、クラブ公式訪問の締めくくりとなりました。

下村地区副代表幹事におかれましても、地区大会の準備状況等を直接伺うことができ、とても有意義なご訪問でありました。

この公式訪問を今年度、次年度のクラブ運営に生かして参りたく存じます。

どうもありがとうございました。



函館北ロータリークラブ

8/24(水)

2022年8月24日、函館北RCにおいてガバナー公式訪問・クラブアッセンブリーが実施されました。国際ロータリー第2510地区石丸修太郎ガバナー、佐柏木秀之ガバナー、下村卓也地区副代表幹事を例会会場であるフォーポイントバイシェラトン函館にお迎えしました。

午前10時30分からの会長・幹事懇談会においては、弗田会長、山下幹事兼次年度会長エレクトと懇談し、コロナ禍における他クラブの活動の状況や現在のロータリークラブが抱える問題や課題を共有しました。函館北RCは会員数の減少やコロナ禍での活動制限、近年の退会者の増加から、来年度での解散を前年からの話し合いの中で決定しており、そこに至った経緯や現在の状況の説明が前向きになされました。石丸ガバナーからはクラブの総意である事から何も問題なく思う旨のお言葉と併せて、60周年の式典を閉会式と兼ねて実施する計画に対しては歴史あるクラブの閉幕には、色々準備が必要とも思うのでしっかり頑張りたいとの激励を頂きました。当クラブと同じ地区には同等の会員数で運営していたり、近年会員数の減少に悩むクラブもあるので、今回の前向きな解散が他クラブにどう見えるかを真摯に考え、実行していく考えです。

その後11時30分からのクラブアッセンブリーでも、解散を前提にしている為具体的な活動計画は乏しかったですが、現在のクラブ会員との思い出をしっかり作り、先輩方に恥じない活動をした上で次年度の解散に臨む意思をしっかりと伝えました。幹事からも、式典の構築だけでなくメンバーの卓話等を通して、ロータリークラブで学んだことを共有する等、意義ある年度にすべく活動するとの言葉があり、それを受けて改めて石丸ガバナーから頑張りたいとお言葉を頂きました。

例会・食事を経て石丸ガバナー様より講話を頂き、近年の国際ロータリーの取組やご自身の活動への考え方・心構え等大変勉強になるお話を頂きました。長年活動しているロータリアンであればこの見識に触れられ、また来年2023年に行われるメルボルン国際大会へのお誘いも頂き、最後の機会としてメンバーでの参加を検討してみようと思いました。講話の後石丸ガバナーと弗田会長にてバナーの交換セレモニーを行い、公式訪問は無事終了しました。

今回の訪問は閉会が決まったクラブを訪問するという石丸ガバナーにとっても例のない経験だったと思いますが、実情を理解頂き暖かいお言葉を多く頂きました。他クラブにも先輩方にも恥じる事のない、しっかりとした閉会式典を構築していく所存ですので、活動年度中は宜しくお願い致します。



七飯ロータリークラブ

8/24(水)

「ガバナー、公式訪問でロータリーの想いを語る」

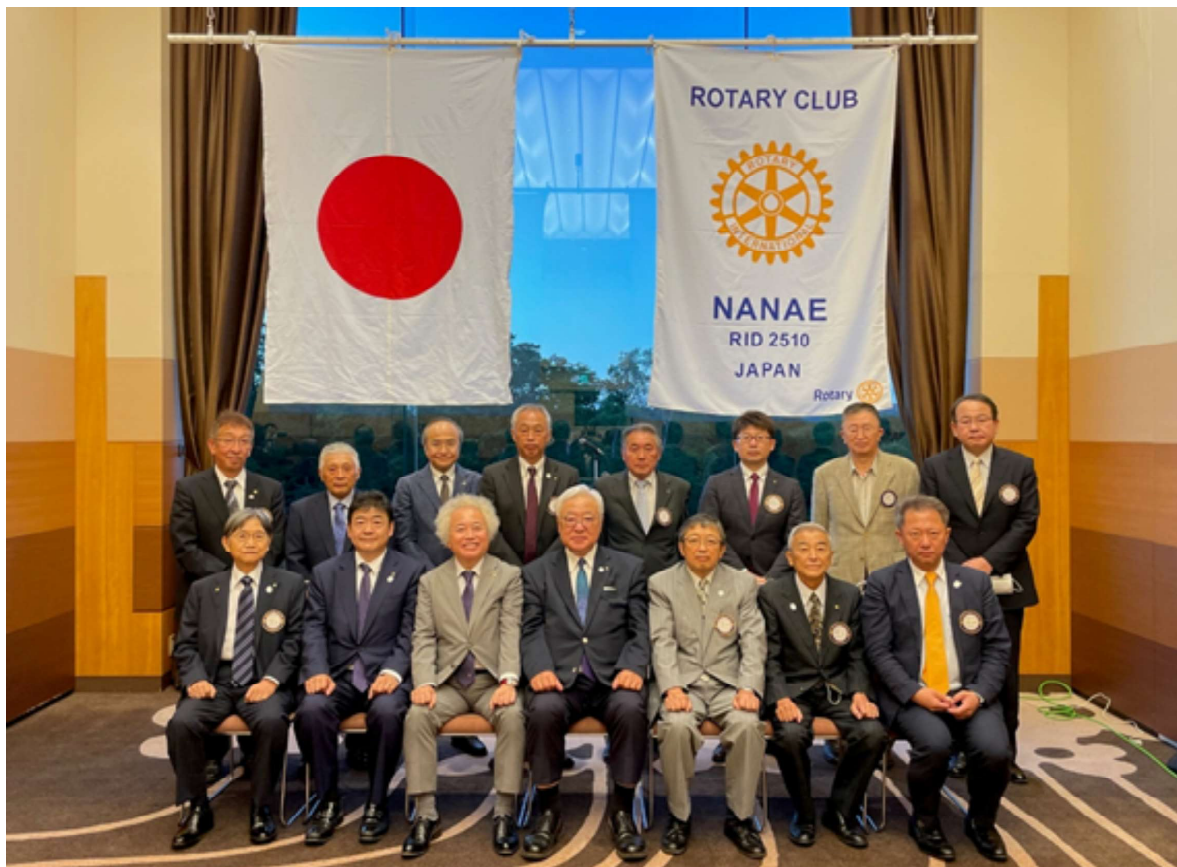
8月24日（水）七飯RCに石丸修太郎ガバナーを迎えて、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、クラブ例会が開催された。七飯クラブは火曜日が例会日、例会会場の都合で水曜日の開催となり全会員14名の出席が出来なかったが、ガバナーと間近にお話が出来、会話を交わせる有意義な例会でした。

石丸ガバナーの地区目標と連携する七飯RC活動目標を話させていただきました。

クラブテーマは「小さくても掲げた各活動目標を、1つ遣り遂げよう」です。このテーマを掲げた趣旨説明で、楽しいもの、発展なもの、地域に繋がるものを基本に考えていることや、ロータリー活動を地域と一緒に推し進め、将来はこの活動を地域に引継げる活動を目指して取組もうと考えていることをお話しました。七飯RCは毎年1月7日に、会員に寄せられた新しい年のカレンダーや手帳を町民に販売する「チャリティーカレンダー市」を開催していました。売上金をお年寄りの様々な活動を支えている七飯福祉協議会に寄付をしている活動です。町民の理解と協議会の協力で自立出来ると考え、来年のお正月でカレンダーの収集の役目だけをロータリークラブが担うことになりました。そして、今年度は新しい事業を展開すべく話し合い活動に繋げて行くことを伝えました。

石丸ガバナーから地域貢献の大切さの必要性と、21世紀は20世紀と違う活動をしなければならないこと、集まって活動することも職業奉仕の一つの活動であることを話され、会員は職業奉仕の新しい活動・事業取組に繋がるメッセージとなりました。

来年、5月27日から31日迄、メルボルンで大会が開催され、28日には北海道ナイトを開催、参加願いのメッセージがありました。ガーデン・シティーの綺麗な町を想像してしまいました。又、20代の若い職員の人格形成に向けてRLIが来年5月に開催される、会員の会社社員の参加など有意義な地区の事業を熱く語られました。会員増強のどんな会員に入会して欲しいか、米山奨学生と地元高校生と中学生の交流など活動のヒントを戴き、懇談会、クラブ協議会を恙なく終えることが出来ました。その後の例会は、楽しく瞬く間に終わり、これからのガバナーのハードなクラブ訪問に健康に留意されることを念じて閉会いたしました。



北斗ロータリークラブ

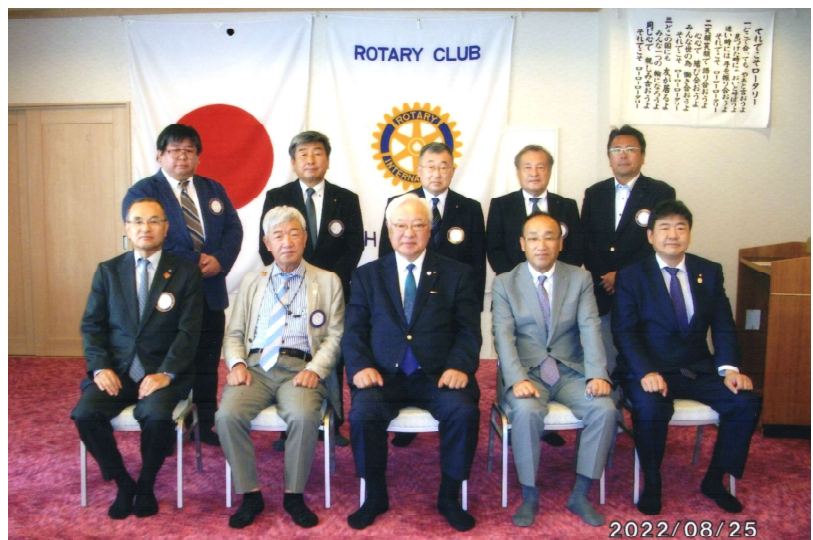
8/25(木)

8月25日（木）石丸修太郎ガバナー、柏木秀之ガバナー補佐、下村卓也地区副代表幹事を迎えての公式訪問が行われました。

午前10時30分より「会長・幹事懇談会」を会長・幹事・会長エレクトが出席し、森濱会長より当クラブの継続事業の「きっずアドベンチャー2022」8月5日・6日開催の報告、「キッズサッカーフェスティバル」は、開催が未定で、昨年同様に各幼稚園へのサッカーボールの寄贈決定の報告及び今年度の会員増強を積極的に取り組む旨の報告させて頂きました。

引続き午前11時30分より「クラブアッセンブリー」が行われ各委員長より今年度の活動計画の報告後、石丸ガバナーより、「きっずアドベンチャー」「キッズサッカーフェスティバル」の活動は、大変素晴らしい活動の為、継続して下さい。又、北斗高校支援学校の支援に関しては、就職支援は、職種上難しい場合は、スポーツ大会への参加時の経済的支援等の貴重なアドバイスを頂きました。又、石丸ガバナーより会員増強に関しまして、会員の職場からRYLAへ積極的な社員の参加・ローターアクト・衛星クラブ・職業分類で、北斗市は、土地柄、農業関係者への声掛けを進める等の貴重なアドバイス・アイデアを頂きました。

引続き午後0時30分より会員7名の参加で例会を開催致しました。石丸ガバナーより2022～2023年度国際ロータリーテーマ及び戦略的優先事項と目的、第2510地区目標の貴重なお話を賜りました。石丸ガバナーと当クラブ森濱会長とバナー交換後、記念撮影を行い有意義な石丸ガバナー公式訪問を終了致しました。



白老ロータリークラブ

8/30(火)

令和4年8月30日に石丸ガバナーと久木地区財務委員が白老町にお越しくださいました。

当日は石丸ガバナーが直々にお車を運転して、白老町長表敬訪問のため、朝10時前に白老町役場までおいでいただきました。

白老町長との会談では、ウポポイの話やふるさと納税返礼品のお話、また、石丸ガバナーはお肉よりもお魚のほうが好きで、虎杖浜のたらこのお話なども出ました。来年5月に行われるIMのお話で、ウポポイに皆様をご招待し見学と研修、そのあとKANTOさんで例会と懇親会を行う旨を浅利白老RC会長が告げると、白老町長も石丸ガバナーも楽しみにしてくださいました。

そのあと、白老RCにて、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会を行いました。

会長・幹事懇談会では、「世間話をしましょう」とガバナーがおっしゃって下さり、ロータリーのことだけではなく色々なお話で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。

クラブ協議会では、各委員長の活動方針のほかに、ロータリーへの思いを語り合いました。新入会員も出席してくれたので、ほかの方のロータリーへの思いを聞いたことは大変貴重な体験になったと思います。

例会時のガバナー講話では、国際テーマと地区のテーマの関係性、未来ビジョン委員会のお話、お互いの得意なことをクラブ活動に生かすこと、青少年奉仕のお話、ZOOMを使った例会のお話等をお伺いいたしました。

未来ビジョン委員会は、委員会として活動することよりも、一人一人が自分の所属するクラブの3年後、5年後、7年後の50周年に向けてどんなクラブにしていきたいかを考え、みんなで話し合うことが大事だというお話でした。

お互いの得意なことをクラブ活動に生かすということについては、職業奉仕の根っこであって、より多くの会員の参加を得て、お互いの今まで知らなかったところを見つけて楽しく活動していくことが大事だというお話でした。

ZOOMを使った会議もコロナ禍だからというだけでなく、他クラブとのつながり等も含めて利用ができるというお話をいただきました。今後仙台西RCとの交流もあるので、その打ち合わせとしてもZOOMを利用してはどうかというお話もいただきました。

たくさんの貴重なご意見やお話をもとにして、今後のクラブ活動をみんなで盛り上げていきたいと思いました。また、新入会員やなかなか例会に参加できていない方に呼び掛けて、少しでも多くの仲間と語り合える時間を大切にしたいと改めて感じました。



2022年8月30日(火) 国際ロータリー第2510地区 石丸修太郎ガバナー、第2510地区財務委員会 久木利弘委員、第2510地区第12グループ田辺真樹ガバナー補佐の3名が苫小牧北RCを公式訪問されました。

16時から当クラブ門脇考靖会長、菅野秀俊会長エレクト、藤井圭介幹事と6名で懇談会を開催し参加者の本業や所属している団体、ロータリー歴やロータリーに対する想いを自己紹介形式で発表。石丸ガバナーと門脇会長の間で今年度の考え方なども意見交換しました。

石丸ガバナーから自分とガバナー補佐との間の情報共有が今まで以上にたいへん密であること。他クラブへの訪問の有意義さや有用性を話され、訪問を推奨してゆくこと。新入会員を増強するだけでなく、色々なことを知って、理解してもらい、情報共有が大切だと話されました。

門脇会長からは例会に出席してもらうことが大事であり、原点だと思ふことや各委員会の長には諸先輩達になってもらい、過去の活動を踏まえた計画を立てて実行して頂きたい。と述べました。

17時から第3回クラブ協議会が開催。冒頭、門脇会長からお客様紹介があり、活動経過報告ではあるが、年度が始まったばかりなので活動計画発表とする挨拶があり続いて石丸ガバナー挨拶では各RCで歴史などが違うため内容が違うので興味深く参加させてもらう。話をする方々がどんな思いで取り組んでいるかを話してほしいとの要望があり続いて田辺ガバナー補佐から思いはガバナーと同じであるとの挨拶がありました。

13委員会の各委員長が活動計画を発表、ガバナーからの要望のどんな思いで取り組んでいるかを述べまた、発言のなかった3名の会員も思いを発表しました。最後に石丸ガバナーから講評を頂き、ガバナーが思い悩んでいた職業奉仕について何をどのようにするべきか例会の卓話でお話をします。と言う事で協議会は終了。

18時から8月第3例会に参加され例会の冒頭、門脇会長から3名の方々を会員に紹介し式次第に則り、食事後に石丸ガバナーに卓話を頂きました。内容は地区の活動テーマをどのように決めたかについてや過去のクラブ会員条件が1業種1会員だったことが会員を増やし、1995年には12万人を超えていたこと。21世紀に入り、会員が減少し続けていること。今後、会員増強のためにローターアクトを促進して、JC経験者など若い方を集めて研修を行い、入会して永く在籍してもらう努力が必要である。職業奉仕とは何かとの悩みは英語の「vocational service」を和訳して職業奉仕となっているが、私は得意な才能を用いた奉仕と考えている。得意な才能とは自分の職業を使って行う活動が職業奉仕だと考えている。これがロータリーの真髄だと思う。と貴重な卓話を頂き皆で集合写真を撮り例会は終了致しました。



苫小牧東ロータリークラブ

9/1(木)

石丸修太郎ガバナー、この度は我が苫小牧東RCにお越し頂き誠に有難うございました。又随行されました川村忠地区幹事、田辺真樹ガバナー補佐におかれましては大変お忙しい中、前日も12グループを訪問されたとの事ですが、ご苦労様でした。

10時30分からの当クラブ平田幸彦会長、内海雅義幹事、佐藤史典エレクト、南澤雄二副幹事、木村京子SAA、山田広報委員長と共に参加して、雑談形式で約1時間程、会長・幹事懇談会を開催致しました。

約10分程当クラブの創立から今日迄の30年の歩みを動画で見て頂きました。

1992年6月に苫小牧北RCを親クラブとしてスタート致しました。発足時は32名でのスタートでした。それから5周年記念として、網代多賀RCさんと姉妹クラブとしてお互い調印しておりますが、今は、網代多賀RCさんが廃会しております。2016年には創立20周年記念と云う事で、グアムサンライズRCさん、龍ヶ崎中央RCさんと姉妹クラブとして調印しております。

今年度は再延長としての調印式を行う予定であります。その創立20周年記念から、グアム「クリスマスドロップ作戦」に毎年12月上旬に当クラブより参加者を募りグアム島のアンダーセン基地内に入り(許可取る)作業をして、グアムサンライズRCさんと龍ヶ崎中央RCさんと交流を楽しんで来ましたが、ここ3年程コロナ禍の中参加出来ないでおります。

この事業について石丸ガバナーからは大変素晴らしいとのご意見を頂きました。又、地元苫小牧市内での奉仕活動として、苫小牧の郵便番号「053」を「ゼロゴミ作戦」と位置づけて毎年5月に市内7か所にゼロゴミ看板を設置してある周辺のゴミ拾いを家族、留学生と共に作業をした後にBBQを楽しんで交流親睦を深めています。と報告をいたしました。

その後11時30分より別室にて「クラブ協議会」を開催し各部門の総括より今年度の活動計画の発表をお聞き頂きました。又今年度より新しく「未来ビジョン策定委員会」を立ち上げました。石丸ガバナーより参加者全員に今のロータリーに対しての思い、苫小牧東RCに対しての今の思いをお話し頂きたいとの事でした。この対応には各発表者は急なお話して、戸惑いもあったと思いますが、流石我がクラブ皆さんの素晴らしい発言に私も感動いたしました。

続いて、12時30分より全員参加による「通常例会」を開催致しました。

9月第一例会でしたので会長挨拶の後、9月誕生日の会員のバースデーソングを皆さんで合唱し、記念品を6人の会員にお渡ししました。川村地区幹事、田辺ガバナー補佐に一言頂き食事の後、石丸ガバナーより国際ロータリー初の女性ジョニファア・E・ジョーンズRI会長のテーマ「イマジジンロータリ」についてのお話と石丸ガバナーの掲げる活動テーマ「ロータリーに思いを馳せる」についてお話しを頂き、職業奉仕の貴重なお話も頂きました。有難う御座いました

